

課題名-ナノテクを用いたPOCT対応小型機器開発に向けた遠心分離機を用いずに血液の成分分離が可能なプレートの開発-

●**研究の概要**:POCTは、「臨床現場即時検査」のことですが、要するに患者様を目の前にして、今どういう状態かを小型検査機器を通して瞬時に判断することにあります。検査機器がPOCT用に小型化されましたが、血管を刺す血液検体採取と遠心分離作業は旧態依然としたシステムが続いており、患者様への負担が大きく、さらに本来のPOCT化の妨げになっています。これらの解決のため私たちは指先ランセット採血で、微量の血液を吐出させ、その血液を採取したのち遠心分離を用いずに血清と血球に分離する方法と器具を研究します。

●**研究責任者**:筑波大学医学医療系臨床学域スポーツ医学教授 竹越一博

〒305-8575 つくば市 天王台 1-1-1

TEL/ FAX 029-853-3389 E-mail: k-takemd@md.tsukuba.ac.jp

- **採血時期**:筑波大学における「臨床検査の測定及び診断技術の向上プロジェクト(医の倫理委員会通知第593号)」において決められておりますように、附属病院入院時に同意を得られた患者様の入院時血液検体を用います。
- **研究の内容**:当初のプロジェクトとして糖尿病患者様を対象に血糖(BS)およびその関連物質(HbA1c)の研究を中心に行います。ただし、本研究の過程で糖尿病のコントロールの悪化が判明しても患者様には報告いたしませんので御了承ください。
- なお、当該解析計画は筑波大学人間総合科学研究科「医の倫理委員会」で審査され、筑波大学医学医療系長によって承認されたものです(通知877号)